

Electric Vehicle Development Technology Exhibition

EVEX

電気自動車開発技術展2011

プレスリリース

2011年3月2日



電気自動車開発技術展(EVEX)事務局

はじめに

この度、主催：電気自動車開発技術展実行委員会（E V E X : Electric Vehicle Development Technology Exhibition、実行委員長 大聖泰弘 早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科教授）、共催：電気自動車普及協議会（A P E V : Association for the Promotion of Electric Vehicles、会長 福武總一郎 株式会社 ベネッセホールディングス 取締役会長）は、本年10月にパシフィコ横浜において、「電気自動車開発技術展（E V E X）2011」を開催いたします。

昨年7月に開催されたE V E X 2010は、「国内唯一の電気自動車専門展示会」として、初開催にもかかわらず、会期3日間で41,769名（同時開催展含む）と非常に多くの来場者を集めました。

第2回目の今回は、自動車業界内外から注目を浴びている、電気自動車普及協議会（A P E V）が共同開催として参画することが決まり、前回以上の反響が予想され、事務局には色々な方面から問い合わせが殺到しております。

E V E Xでは、低炭素社会実現のために、走行時にガスを排出しないE Vが少しでも早くユーザーの選択肢となり、普及促進の一助となるよう、企業間の交流の提供、最新情報の発信といった側面から貢献していきたいと考えています。

つきましては、電気自動車開発技術展（E V E X）の実施概要をご案内させていただきますので、何卒、貴紙誌の記事としてお取り上げいただくとともに、関係各方面への告知にご協力賜りたくお願い申し上げます。

なお、ご掲載いただきました際には、誠にお手数ではございますが、掲載紙誌を事務局までご送付いただければ幸いです。

電気自動車開発技術展（E V E X）事務局

担当：岩佐・森澤

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート西館 32 階

アテックス(株)内

TEL:03-3503-7660 FAX:03-3503-7620

E-mail:ofc@evex.jp

開催概要

1. 名称 電気自動車開発技術展(E V E X)2011
2. 会期 2011年10月12日(水)～14日(金)
3. 会場 パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール
4. 主催 電気自動車開発技術展(E V E X)実行委員会
5. 共催 電気自動車普及協議会(A P E V)
6. 後援 経済産業省、環境省、国土交通省 関東運輸局、
神奈川県、横浜市、(独)日本貿易振興機構
(順不同、一部申請中)
7. 特別協賛 一般(社)日本自動車工業会、(社)日本自動車部品工業会(順不同)
8. 企画・運営 アテックス(株)
9. 協賛 (独)産業技術総合研究所、(独)科学技術振興機構、
(独)地球環境産業技術研究機構、
日本自動車輸入組合、(社)日本自動車タイヤ協会、
日中自動車交流協会、(社)日本自動車整備振興会連合会、
(社)全日本トラック協会、(社)日本バス協会、
(社)全国自家用自動車協会、(社)全国レンタカー協会、
(社)電気化学会、(社)電池工業会、(社)日本電機工業会、
(社)強化プラスチック協会、化成品工業協会、(社)日本ロボット工業会、
(社)日本分析機器工業会、(社)日本工作機械工業会、
一般(社)日本鍛圧機械工業会、(社)日本金型工業会、
(社)日本ダイカスト協会、(社)日本金属プレス工業協会、
一般(社)日本プレハブ駐車場工業会、全国石油商業組合連合会、等
(順不同、申請予定)

10. 展示規模 300社 400小間(予定・1小間 3m×3m)
11. 主な出展対象(別紙参照)
12. 併催行事 (1)開会式
(2)基調講演
(3)スペシャルカンファレンス
(4)先端技術セミナー
(5)出展者プレゼンテーション(出展企業による開講)
(6)実車展示コーナー・試乗会
13. 来場予定者 50,000名
14. 主な来場対象(別紙参照)
15. 入場料 2,000円(税込) 但し、招待券持参者・WEB事前登録者は無料

以上



(2010年12月7日現在・敬称略・順不同)

●委員長

だいしょう やすひろ
大聖 泰弘

早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授

●副委員長

ひぐち せきお
樋口 世喜夫

早稲田大学 環境総合研究センター参与
客員研究員

●委員

いわたけ としひろ
岩武 俊廣

一般社団法人 日本自動車工業会 理事・事務局長

たかはし たけひで
高橋 武秀

社団法人 日本自動車部品工業会 副会長・専務理事

わだ まさのぶ
和田 政信

日本自動車輸入組合 常務理事

まるやま ひろつぐ
圓山 博嗣

日産自動車株式会社 企画・先行技術開発本部
環境・安全技術渉外部 担当部長

はしもと まさのり
橋本 昌憲

三菱自動車工業株式会社
CSR推進本部 環境技術部 部長

こばやし ともや
小林 知也

富士重工業株式会社
戦略本部 EV事業推進室 室長

こいけ としかつ
小池 俊勝

ヤマハ発動機株式会社
技術本部 研究開発統括部長

えいもと やすのぶ
榮元 安信

株式会社 東芝
自動車システム事業統括部 統括技師長

ふじい ひろし
藤井 博司

NTN株式会社
自動車事業本部 企画部 部長

こうご てつや
高後 哲也

日本電産トーソク株式会社
自動車部品事業部 イノベーション開発部 部長

あねがわ たかふみ
姉川 尚史

東京電力株式会社 技術開発研究所
電気自動車担当部長 電動推進マネージャー

はやさか まさよし
早坂 正義

ベクター・ジャパン株式会社 取締役副社長

<参考資料>

電気自動車普及協議会 概要

低炭素社会を早期に実現し、未来の子ども達に美しい地球を残すため、電気自動車(EV)産業という新たな産業創出の視点から、EVの普及促進、啓発活動、また電気自動車をもたらす新しい未来環境を提言、整備することを目的として、平成22年6月29日に発足した協議会です。

本協議会ではEV関連の事業や研究、普及活動に行う事業者、研究機関、各種団体をネットワークでつなぐことによって情報の共有を図り、現在個々に行われている既存ガソリン車の電動化活動等を支援するとともに、既存および新規自動車メーカーのEV事業への参入を促進します。また、電気自動車の広報宣伝や政策提言を行うことによって、電気自動車の社会基盤整備に努めてまいります。

電気自動車普及協議会 役員

- 【会長】 福武 総一郎（株式会社ベネッセホールディングス 取締役会長）
【代表幹事】 中島 徳至（株式会社ゼロスポーツ 代表取締役社長）
【幹事】 田嶋 伸博（株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長 兼 社長）
藤原 洋（株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役社長）
【アドバイザー】 館内 端（自動車評論家）
草加 浩平（東京大学大学院 工学系研究科 特任教授）
村沢 義久（東京大学 総長室アドバイザー）
鈴木 高宏（長崎県 産業労働部政策監 EV&ITS 推進担当）
佐藤 員暢（愛媛県産業技術研究所 EV開発センター長）
【監査理事】 木村 忠昭（株式会社アドライト 代表 公認会計士）

■協議会 Web サイト <http://www.apev.jp>

・協議会に関するご説明(活動内容など) <http://www.apev.jp/aboutus/>

・協議会参加会員一覧 <http://www.apev.jp/member/>

【協議会に関する連絡先】

電気自動車普及協議会 事務局
〒160-0023 新宿区西新宿 6-10-1
日土地西新宿ビル 8階
TEL : 03-5325-3365 FAX : 03-5325-3366
E-mail : info@apev.jp
公式 website : <http://www.apev.jp/>
公式 Twitter アカウント : @apevjp

駆動システム

■モータ

製品:同期モータ、誘導モータ、スイッチリラクタンスモータ、直流モータ、インホイールモータなど
 素材:永久磁石、電線、導体、鉄心、電磁鋼板 など
 構成部品:コイル、シャフト、ベアリング、コア、検出器、ブラケット、フレーム、冷却装置、再生装置 など
 レアメタル:レアメタル輸入業、レアメタル回収技術、レアアース代替技術 など



■バッテリー

製品:リチウムイオン電池、ナトリウム・硫黄電池、金属空気電池、ナトリウム塩化ニッケル電池(ゼブラ電池)、キャパシタ など
 材料:正極材(コバルト酸リチウム、ニッケル酸リチウム、リン酸鉄リチウム、マンガン酸リチウム、リチウム複合酸化物、硫黄等)、負極材(炭素系、黒鉛系、酸化物系、合金系、リチウム金属等)、電解液・電解質、電極箔 など
 構成部品:セパレータ、アルミラミネートフィルム、集電体、触媒、充填材、封止材、絶縁材、筐体 など
 再利用:バッテリーリユース事業、使用済みバッテリーリサイクル事業、金属分離・回収技術 など



制御・電子化

■カーエレクトロニクス

ソフトウェア:モータ制御システム、バッテリー監視システム、運動制御システム、車載ソフトウェア、組込システム、車載ネットワーク など
 電気部品:インバータ、コンバータ、車載電子部品、EMC・ノイズ対策部品、ワイヤーハーネス、電線、コネクタ など

■電子デバイス

軽量化・省電力化

■内外装素材

外装:軽量鋼材、アルミニウム素材、炭素繊維複合材、軽量化プラスチック素材 など
 内装:プラスチック素材(ポリプロピレン、ABS樹脂、アクリル樹脂、ポリウレタンなど)、LED照明、有機EL照明 など

■ウィンドウ

軽量化ガラス、ポリカーボネート樹脂 など

■灯火装置

HID、LED、省電力灯火装置 など

■空調

冷房、暖房、換気システム、ヒートポンプ など

■その他モジュール

電動アシストブレーキ、電動パワーステアリング、走行警告音発生装置 など



試験・計測

■試験装置

走行性能評価装置、自動運転計測システム、環境試験装置、騒音振動解析システム など

■計測機器

モータ:トルク測定装置、静・動特性測定器、磁気測定器、EMC・ノイズ解析機器 など
 バッテリー:充放電試験装置、絶縁試験器、寿命検査器、内部抵抗試験器、セル検査・測定装置、材料検査装置 など



■シミュレーション

走行シミュレータ、衝突シミュレータ、ビジュアルシミュレーション など

生産設備

■製造支援システム

設計:CAD、CAM、CAE、形状モデリング、材料モデリング、メッシュモデリング、データ解析ソフトウェア など
 製造支援:PDM、PLM、デジタルマニュファクチャリング、生産シミュレータ、工程管理システム など



■製造装置

巻線装置、巻磁装置、電池組立装置、電極製造装置、電極組立装置、電極積層装置、電解液注液装置、電極板巻取装置、粉砕装置、ナノ粒子製造装置、攪拌・混合装置、濃縮装置、乾燥装置、シール装置 など

■生産施設

クリーンルーム、ドライルーム、静電気対策装置、洗浄装置、防塵装置、搬送装置 など

車両

■電気自動車

電気自動車、電動バイク、電動カート、マイクロカー など

■電動車両

電池駆動電車、電池駆動路面電車、電池駆動船、電気推進船、パーソナルモビリティ など

■電動農機・建機

建設機械、土木作業車、農作業車、特装車 など



インフラ

■充電装置

製品:急速充電装置、非接触給電システム、車載充電器 など
 構成部品:過電流・過電圧防止装置、漏電防止装置、ケーブル、プラグ、コネクタ、コンセント など

■カーナビゲーションシステム

充電ステーション案内システム、最適経路選択システム など

■カーシェアリングシステム

カーシェアリングサービス、車両管理システム、会員管理システム、課金システム など

■ITS

システム:ナビゲーション(VICS)、自動料金収受(ETC)、安全運転支援(AHS、DSSS、ASV)、交通管理支援(UTMS、駐車場案内システム)、道路管理支援、公共交通支援(PTPS、TDM、IMTS、デマンドバス)、商用車支援、歩行者支援、緊急車両運行支援 など
 電波メディア関連:携帯電話、DSRC、GPS、ミリ波車載レーダー など
 関連機器:カーナビゲーション、電波ビーコン、光ビーコン など



その他

■大学・研究機関、国・自治体、国内外の関連団体、関連媒体 など

●来場対象(前回来場者例:50音順)

国内外の完成車メーカー

アウディジャパン、いすゞ自動車、いすゞ中央研究所、川崎重工業、スズキ、ゼロスポーツ、ダイハツ工業、テスラモーターズ、トヨタ自動車、豊田中央研究所、日産自動車、日野自動車、現代自動車、現代自動車日本技術研究所、フォルクスワーゲン グループ ジャパン、富士重工業、ボルシェジャパン、ボルボ・カーズ・ジャパン、本田技研工業、本田技術研究所、マツダ、三菱自動車工業、三菱ふそうトラック・バス、メルセデス・ベンツ日本、ヤマハ発動機、ヤマハモーターエンジニアリング、UDトラックス など

国内外の部品サプライヤー

IHI、アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、愛知電機、NTN、LGエレクトロニクス、小野測器、オムロン、京セラ、鷺宮製作所、サムスン電子、山洋電気、島津製作所、シーメンス、昭和電工、昭和飛行機工業、信越化学工業、住友重機械工業、住友スリーエム、住友電気工業、デンソー、豊田合成、豊田自動織機、日東電工、日本サムスン、日本GE、日本電産、日本ユニシス、パナソニック電工、日立製作所、富士通、富士電機システムズ、古河電気工業、ポッシュ、旭硝子製作所、三菱重工業、三菱電機、村田製作所、明電舎、矢崎総業、安川電機、横河電機、ルネサス エレクトロニクス など

バッテリーメーカー

SKエナジー、エナックス、NECエナジーデバイス、FDK、エリーパワー、三洋電機、GSユアサ、新神戸電機、ソニー、ソニーエナジー・デバイス、東芝、日本サムスン、パナソニック、パナソニック ストレージバッテリー、日立マクセル、古河電池、リチウムエナジージャパン など

駐車場事業者、インフラ関連事業者

出光興産、コスモ石油、JX日鉱日石エネルギー、昭和シェル石油、相鉄アーバンクリエイツ、駐車場総合研究所、東急パーキングシステムズ、中日本高速道路、西日本高速道路、パーク24、東日本高速道路 など

国・自治体・海外

愛知県、青森県、秋田県、茨城県、イラン大使館、英国大使館、愛媛県、大阪市、大阪府、オーストリア大使館、岡山県、神奈川県、カナダ大使館、川崎市、環境省、関東運輸局、関東経済産業局、群馬県、経済産業省、国土交通省、埼玉県、さいたま市、佐賀県、相模原市、静岡県、静岡市、鳥取県、スウェーデン大使館、仙台市、デンマーク大使館、ドイツ バイエルン州政府、東京都、栃木県、鳥取県、長崎県、新潟県、日本貿易振興機構、広島県、福井県、福岡県、福岡市、ブラジル大使館、フランス大使館、フランス ローヌ・アルプ州政府、米国 ジョージア州政府、米国 テネシー州政府、米国 ミシシッピ州政府、防衛省、南アフリカ大使館、宮城県、宮崎県、山形県、山梨県、横須賀市、横浜市 など

バス・タクシー事業者、レンタカー事業者

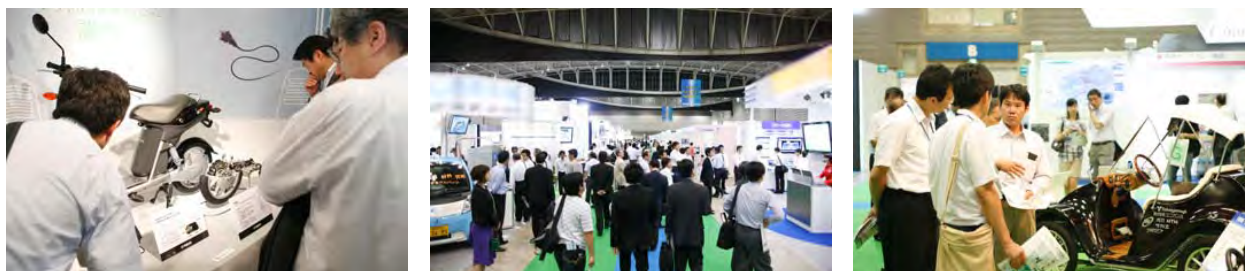
交通事業者、EVユーザー導入検討者

商社

大学・研究機関

◆国内唯一の電気自動車 (EV) に特化した専門展示会

電気自動車開発技術展 (E V E X) 2011 は、次世代車の最有力候補として期待される E V に特化した展示会として開催されます。E V の開発と技術革新がすすむ今、まさに E V の心臓部ともいえるモータ・バッテリーから、その制御および充電設備をはじめ、生産・設計システムや部品、さらには素材までのトータルシステムを対象とした、わが国唯一の E V 専門技術展です。



◆電気自動車普及協議会 (APEV) との共同開催

電気自動車普及協議会は、2010年6月、地球環境の保全と持続可能な社会の実現を目指し、電気自動車の普及を促進すべく、団体を立ち上げました。その活動は、様々な業界から注目され、わずかな期間で加盟企業・団体を増やし、設立当初の35から現在130を越えるまでになっています。E V E X 会期中には E V の普及や安全性といったテーマの A P E V シンポジウムも予定しており、A P E V が共同開催となることで前回の参加企業・団体、来場者が大きく増えることは間違いありません。

◆EV普及をめざした技術・情報発信の場

E V E X 2011 では主な来場対象を、国内外の完成車メーカーや部品サプライヤー (1次・2次) 等の技術者 (研究者・エンジニア) や開発者として据えており、これらの企業に技術やサービスを提供したい出展企業との、いわゆる B to B によるビジネストレードショーとしての意味合いを持った展示会とします。同時に、E V 自体の購入やインフラ整備を今後促進したい国や自治体、運送・輸送関係者、さらには大学・研究所や国の研究機関など幅広い関係者を加えた来場誘致を計画しています。

◆国内最大規模の実車展示コーナー

E V E Xの目玉の1つに実車展示コーナーがあります。E V E X2010では、テスラロードスター、雷駆など最新の電気自動車・電動バイク 24台が一同に会し、来場者の注目を集めました。さらに、BMW mini E、三菱 i-MiEV、スバル プラグイン ステラ、VX-1に実際に乗車体験できる同乗体験会は予約が午前中の早い段階で埋まってしまうほどでした。

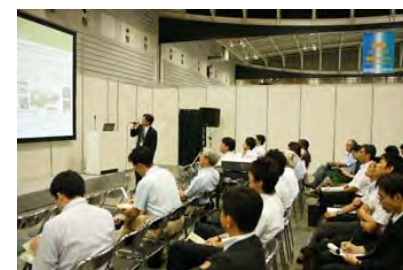
E V E X2011では電気自動車、電動バイクの他に、電動農機、シニアカーなど電池駆動の乗り物を多く展示する予定です。また、試乗会も企画しており、今回も注目のコーナーとなるに違いありません。



◆EVEXでしか聞けない内容！？スペシャルカンファレンス

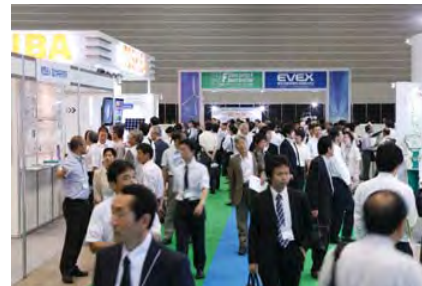
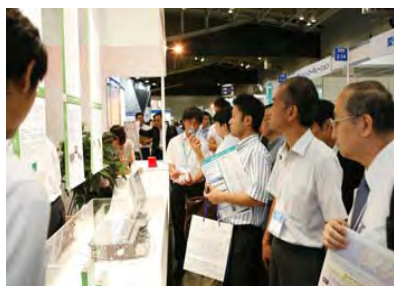
E V E Xでは展示の他に、スペシャルカンファレンスを開講します。自動車に関する各分野の著名な講師を招き、最新の情報を発信します。前回は、モータセッション、バッテリーセッションなど全13セッションを開講し、全セッションで定員をオーバーするほどの盛況ぶりでした。聴講者から「他では聞けないような内容だった。」「このセミナーの内容はE V E X以外では手に入れることができない情報だ。」など驚きの声が続出しました。

会期2ヶ月前の8月上旬より公式WEBサイトにて聴講事前予約を開始する予定です。事前予約での段階で満席となることが予想されます。



◆クリーン発電&スマートグリッドフェア(CSF)と同時開催

「低炭素社会の実現」に向けて、走行時の排出ガスがゼロであるEVの普及を目指す、電気自動車開発技術展(EVEX)2011、太陽光や風力などCO₂を排出しない「クリーン発電」と、エネルギーを賢く使う「スマートグリッド」をテーマにした、クリーン発電&スマートグリッドフェア(CSF)2011を同時開催いたします。EVEXとCSFを同時開催することで相乗効果が生まれ、今後の成長市場へより効果的にアピールができます。



◆EVEX特別併催企画「EVテストング 2011」、EVEX・CSF特別併催企画「エコデバイス 2011」・「大容量バッテリー特設ゾーン」

EVEXでは併催展として電気自動車のテストングにフォーカスした「EVテストング 2011」を開催いたします。特に、EVの心臓部であるモータやバッテリーについては電気化学特性など、従来のガソリン車とは異なる観点から試験・計測が求められます。

「EVテストング 2011」では自動車メーカーや部品サプライヤーにテストングやシミュレーションの機器・システムを効果的にPRできます。

また、EVEX、同時開催展CSF特別開催企画として「エコデバイス 2011」「大容量バッテリー特設ゾーン」を設置します。

電力の有効利用や省電力化、軽量化を実現するデバイスはエコデバイスと呼ばれ、注目を集めています。各方面から熱い期待を注がれるエコデバイスの集中展示ゾーンが「エコデバイス 2011」です。

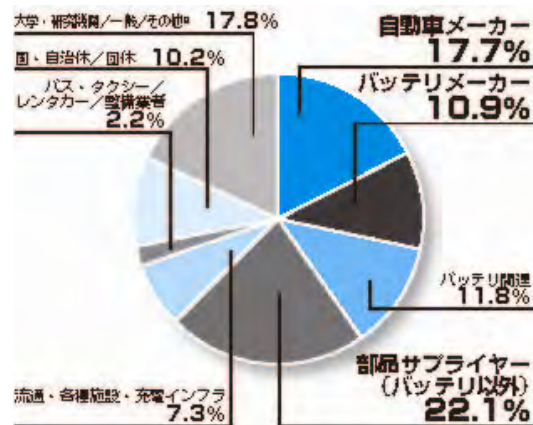
電気自動車の駆動用としても、スマートグリッドの構成要素としても大容量バッテリーはますます重要性が高まっています。「大容量バッテリー特設ゾーン」は大容量バッテリーの総合展示ゾーンです。

前回実績

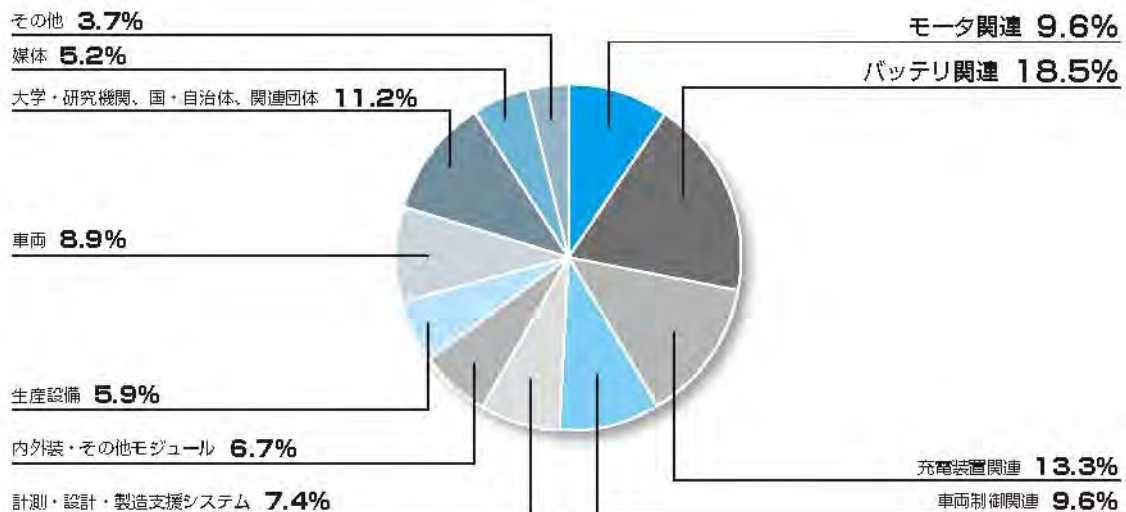
●来場者数

日付	天気	来場者数
7月14日(水)	晴れ時々くもり	10,252名
7月15日(木)	晴れ	14,476名
7月16日(金)	晴れ	17,041名
合計		41,769名

●来場者業種別グラフ



●出展製品分類グラフ



メディアスポンサーについて

電気自動車開発技術展(EVEX)2011では、展示会情報の報道、広告を掲載して下さる各種媒体(インターネット、雑誌、新聞、他)を募集しております。メルマガ配信、バナー掲載、特集記事、広告掲載などをしていただく代わりに、会期中の小間スペース、会場案内図への広告掲載、EVEX公式ホームページへのバナー掲載などをご提供いたします。条件に関しては、協議の上決定をさせていただきます。

EVEXには自動車メーカー、部品サプライヤーをはじめ、バッテリーメーカー、インフラ関連事業者、自治体関係者など多くの来場者が訪れます。また、公式WEBサイトは同様の方々が閲覧しています。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

電気自動車開発技術展(EVEX)事務局

担当：岩佐・森澤

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート 32 階 アテックス(株)内

TEL:03-3503-7660 FAX:03-3503-7620 E-mail:ofc@evex.jp URL:www.evex.jp